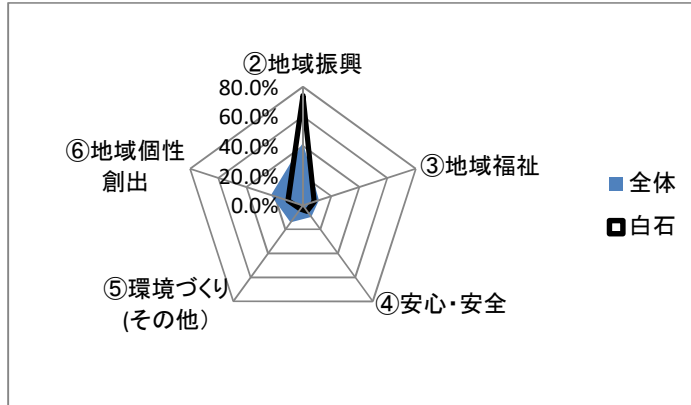


白石地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和5年度)

■地域の情報

地域人口	10,479人	自治会数	40
世帯数	4,824世帯	自治会加入率	81.9%

※数値は、令和6年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	8,748,000 円
交付金決算額	8,439,490 円
その他収入	59,032 円
交付金決算額／配分額	96.5%

各分野の決算

①協議会運営	5,729,289 円
②地域振興	2,050,093 円
③地域福祉	221,211 円
④安心・安全	130,954 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	76,466 円
⑥地域個性創出	290,509 円
決算総額	8,498,522 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

■総括

今年度は、新型コロナウイルスの5類移行した中、交付金の活用によって、専門部会、実行委員会等を中心とした地域課題の解決に向けた取り組みが進んだ。

今後については第3次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(C)、改善する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長及び事務員人件費、事務費
② 地域振興	地域づくり活動参加促進、広報事業、「やまぐちえき」応援イベント、白石フェスティバル開催支援、白石地区親睦大運動会開催支援、町内会親睦活動支援、ふるさとまつり参加促進事業
③ 地域福祉	チャレンジ健康づくり、健康食のおススメ、グラウンドゴルフ参加促進、むかし遊び
④ 安心・安全	危険防止看板設置等、反射鏡設置等事業、自主防災活動参加促進、夏休み防災訓練キャンプ実施、安全パトロール事業
⑤ 環境づくり	環境美化・保全活動推進
⑥ 地域個性創出	白石歴史探訪の会

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	地域づくり活動参加促進	決算額	399,000円
	目的	地域課題解決のための方向性を会員団体が共有する環境づくりと地域づくり活動に参加する地縁者、とりわけ現役世代の参加促進を図る。		
	実施内容	地域課題の解決に向けて、専門部会、実行委員会等運営態勢を構築する。		
	実施時期	通年		
	参加人数	115人		
	成果	各専門部会等の運営に関わる人たちの参加意識の向上が図れ、理事等役員との交流により、協力体制が構築できた。		
	評価	今年度における専門部会の出席率が84%となり、昨年と比較して4ポイント減少した。一方で、参加人数は115名となり、昨年と比較して4名(3.6ポイント)増加した。		
	今後に向けて	地域の将来像や地域課題解決のために実施する事業の情報を地域住民同士が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。また、地域づくりに関わる啓発研修会や自由な意見交換会等を開催するなど啓発活動に取り組む。		
②	事業名	「やまぐちえき」応援イベント	決算額	175,910円
	目的	地域住民同士やSL乗客等他地域住民との交流促進を図る。		
	実施内容	JR山口駅ホームにおいてSLやまぐち号おもてなしイベントや、市内観光ウォーキング、駅構内待合室で白石地域の魅力を発信するための写真展等を開催した。また、他地域との交流促進として第30回地福ナイトフェスティバルに参加した。		
	実施時期	令和5年5月、6月、7月、8月、10月、11月、12月		
	参加人数	16人		
	成果	DLやまぐち号・クリスマス号のおもてなしイベント、ご当地写真展、観光ウォーキング等を開催し、利用者や近隣住民の皆さんへ白石地域の魅力を発信した。実行委員や支援者の地域活動における協力体制への意識が高くなり、自発的に行動できるようになった。		
	評価	写真展『ご当地自慢スポット in 山口』では駅利用客等の皆さんへ「ちょうちん祭り」等の伝統文化や白石地区の街の移り変わり、100年に一度しか咲かないという奇跡の花「竜舌蘭(リュウゼツラン)」など、白石地域の魅力や貴重な記録を発信することができた。また、地福ナイトフェスティバルに参加し、他地域との交流を深めることができた。		
	今後に向けて	今後も継続してJR山口駅のおもてなしイベントの実施、ご当地写真展の開催、駅前ロータリー清掃を実施する。また、6・10月の観光ボランティア「てくてくウォーキング」については、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施したい。白石地域および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。		
③	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	380,237円
	目的	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。		
	実施内容	ほたるまつりは無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。祇園祭は御神幸・御還幸のお神輿担ぎ募集・直会を開催した。ちょうちんまつりはステージは設置せずに、ほたる広場では白石カフェのみを行った。8月6日に白石小・中PTAを中心に、ミニちょうちんツリー点灯・願い事短冊の飾付を実施した。		
	実施時期	令和5年5月27日・令和5年7月20日・27日・令和5年8月6日・7日		
	参加人数	561人(スタッフ等協力者延人数)		

成果	【ほたるまつり】参加者29人 【祇園祭】参加者205人 【山口七夕ちようちんまつり】参加者327人 白石小学校・白石中学校のPTA関係者の多くの協力を得ることができた。
評価	事前に会議を行い、最終確認をしたことから、事前準備、お祭り、片付けまで円滑に実施できた。
今後に向けて	伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間の交流を促進する。とりわけ、自治会連合会を通じて、各単位自治会から最低1名程度の参加を実現したい。